

県立秦野戸川公園 管理運営業務の内容及び基準

当公園の指定管理者募集は、山岳スポーツセンターと一括で行います。山岳スポーツセンターの管理運営内容・基準は別添資料のとおりです。

I 県立秦野戸川公園の概要

(1) 所在地

秦野市堀山下・戸川・横野

(2) 公園面積

約 36.1 h a 「令和 2 年 4 月 1 日時点」

(3) 公園の特性

本公園は、秦野市西部の国道 246 号の北側に位置し、丹沢山塊の裾野から秦野盆地へと広がる扇状地上にあり、園内には水無川（砂防区域）が流れています。

また、四季を通じて登山者で賑わう公園でもあり、丹沢の自然及び登山に関する知識・技術の普及啓発に資するとともに、四季折々の花を楽しみ、田園風景に浸り野遊びや農作業体験などが楽しめる「花の山里・ファームホリデー」を計画のコンセプトとして、整備が進められ、公園を南北に流れる水無川など自然環境を活かした多様なレクリエーション機能を有する公園となっています。

また、山岳救助訓練や宿泊研修のための「山岳スポーツセンター」、丹沢の自然を紹介する「秦野ビジターセンター」、さらに、ボルダリングが気軽に楽しめる「はだの丹沢クライミングパーク」が設置されています。

(4) 公園施設 ★山岳スポーツセンター分は別添資料参照

① 園路及び広場

多目的グラウンド、子供の広場、小さな庭の見本園、少年野球場 等

② 修景施設

植栽地、芝生、池、花壇 等

③ 休養施設

ベンチ、縁台、野外卓、四阿、パーゴラ、シェルター、レストハウス内休憩所 等

④ 遊戯施設

遊具名称	数量	単位	備考
木製複合遊具	1	基	
フワフワジャンプ	1	基	

⑤ 教養施設

自然観察施設、農体験場、秦野ビジターセンター 等

⑥ 便益施設

トイレ、水飲み場、手洗場、案内板 等

⑦ 管理施設

パークセンター、管理員詰所、倉庫、柵、車止め 等

⑧ その他

防災関連施設、お野立所、太陽光発電設備、鉛蓄電池設備 等

※ 当公園内にある「秦野ビジターセンター」「はだの丹沢クライミングパーク」については、別団体の管理となりますので、指定管理業務の範囲から除きます。

II 管理運営方針

指定管理者は、「神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針（2019年3月改定）」を十分に把握した上、次の管理運営方針の内容を理解し、指定管理業務を行うこととします。

(1) 基本方針

散策や鑑賞・遊び・体験など多様なレクリエーション機能の提供をはじめ、「山岳スポーツセンター」、「秦野ビジターセンター」、「はだの丹沢クライミングパーク」などの施設との連携を図りながら、丹沢山麓との良好な自然環境・景観の保全機能を発揮できるよう管理運営を行います。また、災害発生時には防災活動の支援拠点となるよう、日頃より関係団体と連携を図ります。

(2) 自然環境保全方針

多様な生物の生息・生育環境となるよう、まとまりある多様な植生や水辺を保全します。

(3) 運営方針

- ① 広報や情報発信等の工夫を行い、利用者と双方向のコミュニケーションを図りながら、利用促進に必要な取組を管理運営に反映させることとします。
- ② 公園をフィールドとして活動する多様な人材のネットワークの形成に努めるとともに、様々な団体との連携によって公園利用の促進に努めることとします。なお、公園利用の活性化及び自然環境の保全・再生を目的とした、「公園利用運営会議」等がありますので、当会議等の企画・運営を行い、県民参加型の公園づくり及び運営を推進することとします。
- ③ 自然とふれあえる機会を提供し、体験を通じて自然環境への理解を深めるよう運営を行うこととします。
- ④ パークセンターは、利用者へのサービス提供や情報発信拠点、環境教育運営拠点、交流拠点として運営することとします。
- ⑤ 多様な公園利用プログラムの提供とマナー向上を図り、障がい者、幼児から高齢者まで誰もが安全、安心して楽しめる管理運営を行うこととします。
- ⑥ ゴミの持ち帰り・省エネルギー・クリーンエネルギー利用を推進し、循環型社会への普及啓発に努めるとともに、園内の植物管理に伴って発生する木や枝等を園内リサイクルする等のゼロエミッションに努めることとします。
- ⑦ 公園周辺施設との連携、地元の人々との連携、情報の連携などを深め、公園周辺地域での世代を超えた交流などコミュニティの活性化と地域全体の魅力向上を目指すこととします。

(4) 維持管理方針

- ① 公園施設や設備については、その機能や特性を十分に理解した上で、清潔かつ正常な状態とし、利用者が安全で快適に利用できるよう適正な維持管理を行うこととします。

- ② 利用者ニーズや社会情勢の変化を踏まえ、費用対効果を考慮しながら公園再生に取り組み維持管理を行うこととします。
- ③ 植物管理（植込地、芝生、樹木、草地等管理）について、当初の植栽意図を踏まえ、各植物の特性及び生態系に配慮した上で、適正に持続、育成するよう必要な維持管理を行うこととします。
- ④ 山里の牧歌的な風景と四季折々の花を演出するような維持管理に努めます。
- ⑤ 利用者や様々な団体との情報交換を図りながら、維持管理業務を行うこととします。
- ⑥ 近年の害獣被害に対応するため、ネットの設置や下草刈りなどの樹林地管理に努めます。

(5) 安全・安心な公園への方針

- ① 園路や休憩施設、遊具などの公園施設は、日常点検やパトロールを定期的に行い、不具合の早期発見、早期対応を行うこととします。また、施設沿いは、除草や剪定をこまめに行い、周囲からの死角を解消し、事件・事故の発生を未然に防止することとします。
- ② 新型コロナウイルス等の感染症への対応など、想定される様々な危機への的確な対応に努めることとします。
- ③ 本公園は、神奈川県地域防災計画上では広域応援活動拠点に、秦野市地域防災計画では、指定緊急避難場所やヘリコプター臨時離着陸場所に指定されています。これらを踏まえ、指定管理者は、大規模地震等、大規模災害発生時に、県・地元自治体と連携・協力して災害対応に努めることとします。
- ④ 台風や豪雨等の自然災害への脅威の高まりなどを踏まえ、巡回点検や応急対策等のマニュアルを作成し実践することとします。また、指定管理者は県及び防災機関との連絡体制の構築を行い、併せて、被害軽減のための対応を行うこととします。

(6) ゾーン別の方針

園内を機能・目的・自然環境等により、別紙「維持管理基準書」のゾーン図に示すゾーンに分けています。ゾーンごとの管理運営方針は以下のとおりですが、方針の趣旨を十分参酌し、当該ゾーン以外でも方針の趣旨が果たされるよう管理運営を行うこととします。

- ① ファミリー・レクリエーションゾーン
 - ・ 来園者が離合集散する本公園の顔となるゾーンであることから、花壇等により本公園の象徴となる空間演出など、清潔で修景に配慮した維持管理を行うこととします。
 - ・ 各ゾーンへの主たる導入部であることから、各公園施設の案内やイベント情報、マナーや注意事項などの情報提供を継続的に実施することとします。
 - ・ バーベキュー場、子どもの広場、農体験場、見本園などは、各施設の利用特性に応じて、利用者の安全性、快適性を確保することとします。
- ② スポーツ・レクリエーションゾーン
 - ・ 野球場や多目的グラウンドなどがあり、スポーツ利用が多いゾーンです。野球やサッカー、ターゲットボードゴルフなど多彩な種目が行われており、それぞれの競技特性に応じて、快適な利用が図れるよう維持管理を行うものとします。
- ③ 川遊びゾーン
 - ・ 水無川での川遊び利用が多いゾーンです。安全性を第一に配慮しつつ、自由に水遊

びができる空間として適切な管理を行うこととします。

- ・ 水無川を渡る園路があることから、降雨時の増水に注意し、適宜通行止めにするなどの安全処置を行うこととします。
- ・ 増水後に土砂が堆積することがあることから、水無川管理者と連携を図り、土砂の早期除却に努めることとします。

④ 文化と芸術のゾーン

- ・ 茶室及び山里庭園では、茶会による利用があることから、日本庭園としての美観を確保し、快適で質の高い管理を行うものとします。
- ・ 「秦野ビジターセンター」や「はだの丹沢クライミングパーク」（どちらも都市公園管理外）との間では、日頃から相互に連携し、利用者サービスの向上に努めることとします。

⑤ 森の自然観察ゾーン

- ・ 猛禽類や大型哺乳類など多くの野生動物が生息する豊かな自然環境を有する場所です。この自然環境の保全・活用については、関係機関・団体等と情報交換・意見交換を行いながら当該ゾーンの管理運営を行うこととします。

Ⅲ 運営業務 *山岳スポーツセンターは別添資料参照

(1) 運営体制の確保

- ① 運営業務及び維持管理業務に支障のないよう、管理要員を適切に配置することとします。
- ② 管理要員のうち1名は、常時、総括的に判断できる者を配置することとします。（所長、副所長等）
- ③ 管理要員の配置に当たっては、公園の目的、管理基本方針を理解し指導できる専門的な知識や経験を有する者を配置することとします。
- ④ 運営業務、維持管理業務の従事者に対して、職員の育成及び運営に必要な研修を適宜実施することとします。

(2) 管理事務所の開所時間

管理事務所の開所時間は、原則として午前8時30分から午後5時15分までとします。ただし、利用者対応等の業務がある場合は、必要に応じて、随時延長等を行うこととします。

(3) 運営業務

- ① 公園利用者の接遇、公園利用者への利用案内・利用指導
- ② 園内巡視（施設等の点検巡視、安全巡視、解説・案内等のコミュニケーションによる利用者対応）
- ③ 掲示板などの運営
- ④ 有料施設の管理運営
- ⑤ 公園のホームページの作成及び更新とパンフレットの更新及び増刷
- ⑥ 自主事業の推進
 - (ア) 利用者サービス向上に寄与するイベントやSNSなど幅広い媒体を活用した情報発信などの積極的な実施

- (イ) 現管理者の実施状況については、下記ホームページを参照願います。
 秦野戸川公園ホームページ：http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanotokawa/
- (ウ) 利用者や地域住民のニーズの把握と公平な運営に留意すること。
- ⑦ 公園の適切な公衆衛生環境の確保に向けた取組みの推進
- ⑧ 公園に関する要望・苦情の聴取及び処理
- ⑨ 神奈川県都市公園条例第13条の行為の禁止の遵守
- ⑩ 地元自治体との連絡調整
- ⑪ 平塚土木事務所への業務報告及び連絡調整
 - (ア) 業務日報に基づく月例業務報告
 - (イ) 苦情処理対応の記録及び報告
- ⑫ 事故及び緊急時等の対応
 - (ア) 利用者の保護、救護及び二次事故の防止
 - (イ) 事故発生時の利用者の立場に立った適切な対応及び状況の把握
 - (ウ) 園内で急病人やけが人、犯罪等が発生した場合の関係部署への速やかな通報及び平塚土木事務所への事故報告
 - (エ) 利用者の安全確保を図る観点から施設内にAED（自動体外式除細動器）を設置し、緊急時に備えること
- ⑬ 災害への対応
 - (ア) 集中豪雨、台風、強風・大雨等の警報発表時等、または、それらの警報発表に至るおそれがあるときの警戒配備体制の設置、施設点検、被害状況報告及び応急措置（一次対応は指定管理者、二次対応は県）
 - (イ) 大雪警報発表時等、または、それらの警報発表に至るおそれがあるときの警戒配備体制の設置、施設点検、被害状況報告及び除雪作業等の実施
 - (ウ) 震災時における非常配備体制の設置、職員の参集、施設点検、状況報告及び応急措置等の対応、関係機関への協力

IV 維持管理業務

- (1) 共通事項
 - ① 維持管理業務の対象はI-(4)に示す公園施設の維持管理（保守点検、補修、修繕を含む）とします。
 - ② 施設及び設備は正常な状態を保持し、適正な利用に供するよう、日常的な保守点検を行い、部品交換や施設の補修・修繕を行うこととします。
 - ③ 樹林地整備については、間伐を指定管理業務としていないため、県の業務としますが、園路、施設沿い、公園外周部の樹木の安全管理は、利用者の安全を確保するよう、別紙「維持管理基準書」を踏まえ必要に応じて適切に行ってください。（ただし、指定管理者からの提案を妨げるものではありません。）
- (2) 維持管理水準

別紙「維持管理基準書」により、1年間の管理内容・数量の目安を示していますので、適切な維持管理により、公園の安全で快適な利用を確保することとします。
- (3) 管理項目別の特記事項

特に留意すべき管理項目別の管理内容、管理レベルは以下のとおりです。なお、対象範囲の概要は別紙「維持管理基準書」の図面に示しています。

① 園路及び広場

利用者に不快感を与えることの無いように定期的に清掃を行うこととし、特に、園内には急勾配の園路が多いことから、スベリによる転倒事故を防止するため、落葉清掃等は確実に行うこととします。有料施設（少年野球場、多目的グラウンド）の利用受け付けに当たっては、利用料金の減免規定の運用に注意してください。芝生広場については、芝生地としての利用に支障のないよう、平坦性や快適性の確保に努め、適切な刈り込みや除草を行うこととします。

② 修景施設

良好な景観を構成する樹林地及び重要な生物の生息地として適切な保全管理を行うこととします。見本園・ハーブ園は植栽された種の魅力を最大限引き出すように適切な管理を行うこととします。

③ 休養施設

木製施設の老朽化に注意し、塗替・部材取替を適切に行うこととします。

④ 教養施設

自然観察施設は、自然観察、自然調査及び森林浴等の利用が中心となることから、環境教育の視点と、利用上の安全確保を行うための管理を行います。農体験場は、管理作業や農業体験の利用方法に適した管理を行います。

⑤ 管理施設

農業用水路の取水堰や水位の状況に注意して下さい。

⑥ その他

園内中央を流れる水無川は、夏期を中心に子供達や家族連れが安全及び自由に水遊びのできる施設として適切な管理を行うこととします。風の吊り橋（川面からの高さ約35m）からの落下事故に注意するとともに、不測の通報時には現場に急行し、必要な処置を施すこととします。

V 管理に要する経費

県が積算した指定管理料の金額は「公園関係資料」に記載しています。

VI 大震災等への対応

本公園の指定管理者には、大震災等への対応として、本公園の「震災時対応の考え方」（参考資料1）に基づき、平常時、震災時の対応をしていただきます。「震災時対応の考え方」に記載の指定管理者の役割を十分理解の上、より具体的な連絡体制、初動時・緊急時の対応について提案書に明示していただくとともに、日頃からの防災意識向上の取組や行動訓練、地域との連携について、提案者の具体的な提案を期待します。

VII その他

- （1） 指定管理者は、公園運営に関する意見交換、情報交換の場をつくるなど、多様な利用者の意見を反映させた管理運営に努めることとします。

- (2) 当公園は、現在整備中の公園で全体計画面積は 50.7 h a です。今回提案していただく指定管理業務の範囲は、既に開園済みの区域 36.1 h a を対象としています。今後新規拡大する範囲・施設については、随時調整のうえ、指定管理業務に追加する場合があります。
- (3) 本公園は、公園隣接地に希少猛禽類が生息し、維持管理について一部エリアを対象とした管理ガイドラインが策定されているため、対象エリアの維持管理の実施に当たってはその内容を遵守してください。
- (4) 指定管理範囲には、一括募集を行う神奈川県スポーツ局所管の山岳スポーツセンターを含みます（秦野ビジターセンターは含みません）。山岳スポーツセンターの維持管理基準については、別添資料をご参照ください。

VIII 運営連絡協議会等への参加・協力

公園の管理・運営に関係し、次の運営協議会等が設置されており、積極的に参加・協力を行うこととします。

・ 県立秦野戸川公園利用運営会議 整備と管理・運営に関する連絡会

地域や利用者、県民団体や関係行政機関との情報交換と調整を踏まえた公園整備及び維持管理運営を推進するため、これらの関係者との調整を行う場です。この会議において、指定管理者には主たる事務局としての事務を行っていただきます。

公園関係資料

公園名：秦野戸川公園

1. 経費等実績

(1) 指定管理料の上限額

総額： 584,062千円（消費税及び地方消費税10%を含む金額）

上記のうち 公園分： 511,425千円（上限額）

山岳スポーツセンター分： 72,637千円（上限額）

年額：公園分：102,285千円（上限額）（消費税及び地方消費税10%を含む金額）

山岳スポーツセンター分：（上限額）

【令和4年度】14,542千円（消費税及び地方消費税10%を含む金額）

【令和5年度】14,776千円（消費税及び地方消費税10%を含む金額）

【令和6・8年度】14,236千円（消費税及び地方消費税10%を含む金額）

【令和7年度】14,847千円（消費税及び地方消費税10%を含む金額）

（「神奈川県立山岳スポーツセンター管理運営業務の内容及び基準」の
「別紙4-2 神奈川県立山岳スポーツセンターの想定収支」参照）

※指定管理料の提案に当たっては、公園分、山岳スポーツセンター分それぞれの上限額
を超えない範囲でご提案ください。

上記の金額は、

【①指定管理料＝総管理経費－②駐車場収入－③利用料金収入－④自動販売機収入】

の①に該当する額です。

②駐車場収入に該当する額については、「3. 駐車場運営の状況」を参照し提案して下さい。

※山岳スポーツセンターには有料駐車場はありません。

③利用料金収入に該当する額については、「4. 有料施設の状況」を参照し提案して下さい。

※山岳スポーツセンター分の利用料金収入額は別添資料を参照

④自動販売機利益に該当する額については、「5. 自動販売機の状況」を参照し提案して下さい。

※山岳スポーツセンターには、指定管理者の収入とすることができる自動販売機の設置
はありません。

*1 「神奈川県立秦野戸川公園及び神奈川県立山岳スポーツセンター 指定管理者募集要
項【共通編】」p24「10 管理に要する経費（1）指定管理業務に係る経費」に示す計
算式により、項目「節減努力等」を評価します。一律満点となる提案額は次のとおりで
す。

総額： 467,249.6千円（消費税及び地方消費税10%を含む金額）以下

上記のうち 公園分： 409,140千円（上限額）

山岳スポーツセンター分： 58,109.6千円（上限額）

* 2 各年度の想定収支・積算内訳は参考資料2、過去3年間の収支決算状況は、参考資料3のとおりです。参考までにお知らせします。

* 3 上記の①指定管理料の上限額には、次のとおり、山岳スポーツセンターの総管理経費、利用料金収入が反映されています。

$$\text{①指定管理料の上限額（総額）} = \text{総管理経費（公園+山岳 SC）} - \text{駐車場収入（公園のみ）} \\ - \text{利用料金収入（公園+山岳 SC）} - \text{自動販売機収入（公園のみ）}$$

* 4 なお、現管理者が再委託している業務及び委託金額については発注方法により差があり、また企業のノウハウが含まれますので、各団体の必要に応じて提案して下さい。

(2) 光熱水費等（平成29年度～令和元年度） *山岳スポーツセンターは別添資料参照

（金額：千円）

年度	電気	ガス・燃料	上下水道	電話・FAX 他通信費
平成29年度	2,537	344	3,263	582
平成30年度	2,817	250	3,303	566
令和元年度	2,534	238	3,282	561
平成29～令和元年度 平均	2,629	277	3,283	570

※ 平均値は収入、経費、利益ごとに算出しているため、引き算が合致しない場合がある。

(3) 公園の警備体制 *山岳スポーツセンターは別添資料参照

警備箇所	警備手法	警備日時		人数	詰所
公園全域	巡回警備	土日祝日	17:00～	2名 1組	管理棟
		7/21～8/31 は毎日 11/24～12/28 は毎日	22:00		
		12/29～1/3 毎日 12/31 は24時間	8:00～ 22:00		
パークセンター、 茶室、管理棟	機械警備	通年 (職員が退所してから出勤するまでの時間)			
川遊びゾーン	河川巡視	7/21～8/31 毎日	10:00～16:00	1名	

※ 上記の警備時間は現指定管理者の実績であり、職員の勤務体制に応じて、適切に警備時間を設定するものとする。

(4) 設備一覧（点検が必要な設備） *山岳スポーツセンターは別添資料参照

設置場所	設備名称	備 考
パークセンター横 他	受変電設備	2箇所
パークセンター	消防設備	
〃	昇降機	
〃	電話交換機器	
〃	自動ドア保守	
〃	空調機器保守	
水無駐車場・戸川側 WC 横	簡易専用水道（受水槽）	
〃	飲用水滅菌器保守	
〃	自動給水ポンプ保守	
子供の広場（WC 横）	汚水マンホールポンプ保守	
子供の広場	木製複合遊具	
〃	ふわふわジャンプ	
その他	簡易水道検査	
パークセンター	200 m ² を越える建築物及び 建築設備	建築物（3年ごとに報告） 建築設備（毎年報告）

(5) 主要建築物一覧表

名称	設置年月日	延床面積	構造等
パークセンター	H9. 4. 1	997.88 m ²	RC 造
レストハウス内休憩所	H12. 3. 15	177.26 m ²	RC 造
管理員詰所	H9. 4. 1	142.12 m ²	鉄骨造

2. 公園の利用状況

(1) 公園利用者数（平成29年度～令和元年度）

(単位：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	128,080	51,780	38,490	48,030	78,030	27,910	27,270	39,090	17,880	16,980	20,530	46,610	540,680
平成30年度	134,530	46,500	42,580	42,220	92,300	29,510	40,270	39,610	19,460	17,270	20,550	44,910	569,710
令和元年度	150,520	51,080	41,090	37,040	84,240	33,830	63,260	38,780	21,570	14,150	27,200	40,130	602,890
平成29～令和元年度平均	137,710	49,787	40,720	42,430	84,857	30,417	43,600	39,160	19,637	16,133	22,760	43,883	571,093

3. 駐車場運営の状況

運営方法や駐車料金の設定は、指定管理者決定後に県と協議の上、決定することとなります。

(1) 駐車場収入（平成29年度～令和元年度）

(単位：円)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	3,077,045	2,713,890	1,595,350	2,304,320	2,755,930	1,372,970	1,045,580	1,720,700	1,058,770	1,129,280	1,026,620	1,867,550	21,668,005
平成30年度	3,389,790	2,284,710	1,485,580	2,132,230	3,346,630	1,278,230	1,628,950	1,791,700	933,450	1,128,600	1,067,330	1,776,290	22,243,490
令和元年度	3,419,330	2,647,980	1,316,800	1,569,770	3,342,670	1,692,660	1,413,470	1,925,070	1,253,910	1,276,010	1,738,970	2,166,870	23,763,510
平成29～令和元年度 平均	3,295,388	2,548,860	1,465,910	2,002,107	3,148,410	1,447,953	1,362,667	1,812,490	1,082,043	1,177,963	1,277,640	1,936,903	22,558,335

(2) 運営状況

駐車場名	収容台数			料金制度	有料期間
	中型車	普通 (内、障がい者専用)	二輪		
大倉	10	150 (4)	2	時間制	終日有料 (30分以内無料)
水無川	—	75 (4)	—		
諏訪丸	—	77 (2)	—		
計	10	302 (10)	2		

(単位：円)

有料時間	駐車料金			
	料金制度	中型車以上	普通	二輪
土日・祝日 夏季期間(7/21～8/31) 年末年始(12/29～1/3)	30分以内	無料	無料	無料
	2時間まで	630	320	無料
	2時間～10時間まで	850	530	無料
	10時間以上	1690	1060	無料
平日	30分以内	無料	無料	無料
	2時間まで	310	100	無料
	2時間～10時間まで	410	200	無料
	10時間以上	810	410	無料

(3) 駐車場台数実績 (平成29年度～令和元年度)

(単位：台)

車種	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大型	平成29年度	28	35	30	38	48	29	15	44	21	9	30	33	360
	平成30年度	37	26	26	35	65	49	30	38	17	18	17	25	383
	令和元年度	54	28	32	37	49	42	51	36	13	12	17	29	400
	平成29～令和元年度 平均	40	30	29	37	54	40	32	39	17	13	21	29	381
普通車	平成29年度	18,045	10,670	8,002	8,721	9,102	6,655	6,166	8,654	6,124	6,070	6,172	10,893	105,274
	平成30年度	17,204	9,415	7,547	7,987	10,347	5,931	8,559	8,568	5,968	5,967	6,175	10,190	103,858
	令和元年度	18,296	10,372	7,555	7,298	12,652	7,745	7,433	8,849	6,863	6,117	8,794	12,715	114,689
	平成29～令和元年度 平均	17,848	10,152	7,701	8,002	10,700	6,777	7,386	8,690	6,318	6,051	7,047	11,266	107,940
二輪車	平成29年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平成30年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和元年度	-	-	-	87	122	115	160	165	88	79	134	130	1,080
	平成29～令和元年度 平均	0	0	0	87	122	115	160	165	88	79	134	130	1,080

※ 二輪車の駐車台数は、令和元年7月から計測開始による。

4. 有料施設の状況 *山岳スポーツセンターは別添資料参照

(1) 利用料収入 (平成29年度～令和元年度)

(単位：円)

施設名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	平成29年度	63,220	70,660	73,700	94,000	67,150	62,220	51,900	68,750	54,520	44,950	53,320	60,700	765,090
	平成30年度	55,760	60,360	64,720	68,880	65,890	68,340	69,380	57,690	50,960	46,500	47,740	72,160	728,380
	令和元年度	57,490	68,160	67,160	67,880	70,030	90,800	51,620	68,120	47,550	45,260	53,940	59,020	747,030
	平成29～令和元年度 平均	58,823	66,393	68,527	76,920	67,690	73,787	57,633	64,853	51,010	45,570	51,667	63,960	746,833
少年野球場	平成29年度	27,260	27,260	21,620	35,720	32,430	20,680	12,220	22,560	10,810	0	0	23,500	234,060
	平成30年度	25,380	20,680	22,560	34,780	30,550	13,160	23,500	17,390	11,280	0	0	22,560	221,840
	令和元年度	27,730	25,380	18,800	28,200	40,890	26,320	15,040	21,620	11,280	0	0	11,280	226,540
	平成29～令和元年度 平均	26,790	24,440	20,993	32,900	34,623	20,053	16,920	20,523	11,123	0	0	19,113	227,480
多目的グラウンドA	平成29年度	3,100	13,640	19,220	30,380	8,060	14,880	13,640	17,050	14,570	15,500	17,360	9,920	177,320
	平成30年度	1,860	9,920	14,880	11,160	9,300	32,240	15,500	13,020	16,120	18,600	17,360	21,080	181,040
	令和元年度	0	10,540	19,220	12,400	4,960	29,760	9,300	17,360	11,470	17,360	21,700	17,360	171,430
	平成29～令和元年度 平均	1,653	11,367	17,773	17,980	7,440	25,627	12,813	15,810	14,053	17,153	18,807	16,120	176,597
多目的グラウンドB	平成29年度	32,860	29,760	32,860	27,900	26,660	26,660	26,040	29,140	29,140	29,450	35,960	27,280	353,710
	平成30年度	28,520	29,760	27,280	22,940	26,040	22,940	30,380	27,280	23,560	27,900	30,380	28,520	325,500
	令和元年度	29,760	32,240	29,140	27,280	24,180	34,720	27,280	29,140	24,800	27,900	32,240	30,380	349,060
	平成29～令和元年度 平均	30,380	30,587	29,760	26,040	25,627	28,107	27,900	28,520	25,833	28,417	32,860	28,727	342,757

(2) 有料施設の状況 *山岳スポーツセンターは別添資料参照

施設名称	数量	規模等	供用日、供用時間
少年野球場	1面	面積 6,455㎡ 両翼 76.2m	4月、9月、10月 午前6時～午後5時 5月、8月 午前6時～午後6時 6月、7月 午前6時～午後7時 11月、12月 午前9時～午後4時 3月 午前9時～午後5時 ※休場日 12月16日～3月15日 及び毎月第一月曜日、整備日
多目的 グラウンド A・B	1面	面積 11,000㎡ 設備 バックネット	4月、9月、10月 午前6時～午後5時 5月、8月 午前6時～午後6時 6月、7月 午前6時～午後7時 11月、12月、1月 午前9時～午後4時 2月、3月 午前9時～午後5時 ※休場日 12月28日～1月4日、整備日

名称	区分	単位	金額
秦野戸川公園	少年野球場	1時間	470円
	多目的グラウンドA・B	1時間	310円

※上記の料金は、神奈川県都市公園条例により定められている利用料金等の上限額の範囲内で、現在の指定管理者が設定しているものです。

※上記供用日及び供用時間については、今後利用者のニーズに合わせ、変更となる可能性があります。

5 自動販売機の状況（公園のみ）

（単位：円）

公園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	151,071	227,032	118,363	271,974	173,784	124,252	56,631	90,437	50,014	54,068	54,788	110,361	1,482,775
H30年度	235,733	129,456	99,807	230,241	255,193	158,908	147,042	95,104	42,991	58,430	41,854	94,188	1,588,947
R元年度	235,258	217,629	143,114	146,640	390,980	112,065	132,289	19,589	105,018	121,256	137,923	293,958	2,055,719
H29～R1 年度平均	155,516	143,529	90,321	162,214	204,989	98,806	83,991	51,283	49,506	58,439	58,641	124,627	1,281,860

設置台数 9台

6. 管理許可施設等の状況

(1) 指定管理者に管理運営（営業）を許可する施設

施設名	区分	面積等 (㎡)	使用料 (円)	光熱水費 の負担	備考
県山岳スポーツセンター	設置	1042.32		○	使用料は山岳SC別添資料参照
同関連施設	管理	5805.12		○	使用料は山岳SC別添資料参照
大倉駐車場	管理	7,018.74	196,020	○	
水無川駐車場	管理	2,372.31	84,843	○	
大倉・水無川駐車場料金徴収場	設置	27.70	922	○	
諏訪丸駐車場	管理	3,176.58	75,957	○	
諏訪丸駐車場料金徴収所	設置	18.04	607	○	
多目的グラウンド臨時駐車場	管理	6,444.00	7,596		
野外炉13基	管理	171.42	2,357	○	
茶室及び休憩所	管理	194.4	免除	○	
野外炉管理棟	管理	9.89	29,680	○	
冷凍冷蔵庫、作業台等	設置	2.31	18,682	○	
自動販売機	設置	9.29	19,539	○	9台
計			434,674		

(2) 指定管理者以外の者が管理（設置等）している主な施設

施設名	区分	面積等 (㎡)	光熱水費の徴収	備考
秦野ビジターセンター	管理	265.32	協定により有り	管理者：県自然環境保全センター長 区分管理（公園管理事務室）
ビジターセンター用倉庫	設置	19.61		3基
レストハウス (食堂及び売店)	管理	120.54		秦野市長 区分管理（公園休憩所）
同（自動販売機）	設置	3（台）		秦野市長
歌碑	設置	7.5		秦野市長
第61回全国植樹祭記念碑	設置	7.0		神奈川県森林再生課
ボルダリング場 (建物、配管等)	管理 設置	6368.03 496.06		秦野市長

7. 県所有物品一覧 (貸与物品) *山岳スポーツセンター分は別添資料参照

県所有物品一覧(備品)

番号	品名		単位	数量	摘要
		規格・寸法等			
1	ソファー	ウチダRP-25	脚	1	19121101002
2	工具キャビネット	ライオンTT-45	台	1	19121103003
3	工具キャビネット	ライオンTD-906	台	1	19121103004
4	工具キャビネット	ライオンTD-907	台	1	19121103005
5	雑誌架	プラスTJ-AZS	台	1	19121103007
6	シューズロッカー	くろがねJH-KL160	台	1	19121103008
7	シューズロッカー	くろがねJH-KL160	台	1	19121103009
8	シューズロッカー	くろがねJH-KL160	台	1	19121103010
9	書架	ウチダ傾斜WSR-14CS	台	1	19121103011
10	書架	ウチダ傾斜WSR-14CS	台	1	19121103012
11	書架	プラスTJ-A13KKJ	台	1	19121103013
12	書架	プラスTJ-A13KKJ	台	1	19121103014
13	食器戸棚	ウチダSH-2型	台	1	19121103017
14	物品棚	春慶水指棚	台	1	19121103033
15	釜	霧巴丈真形羽付釜炉用(金森紹栄)	個	1	19121107004
16	釜	青海波丈操口釜炉用(金森紹栄)	個	1	19121107005
17	釜	茄子鉋付千筋丈筒釜炉用(金森紹栄)	個	1	19121107006
18	風炉	唐銅道安	個	1	19121107009
19	水指	染付六角山水(手塚景雲)	個	1	19121107010
20	冷蔵庫	日立R-37V1	台	1	19121107012
21	冷蔵庫	日立R-22A6	台	1	19121107014
22	ホワイトボード	プラスRW-360W	台	1	19121109013
23	案内板	プラスRF-0601B	台	1	19121109014
24	写真機	コニカ現場監督ズームオートデート	台	1	19121111005
25	写真機	キャノンEosKiss(N)	台	1	19121111006
26	投映機	CABIN CS-30PX	台	1	19121111007
27	投映機台	ウチダTL型	台	1	19121111008
28	バキュームスーパー	BG81SP	台	1	19121115008
29	発電機	ホンダ EX500	台	1	19121115009
30	噴霧器	ホンダWJR2215	台	1	19121115011
31	発電機	ヤマハ発動機 EF2500i	台	1	19121115047
32	発電機	ヤマハ発動機 EF2500i	台	1	19121115048
33	チェンソー	ゼノアG250-10	台	1	19121117003
34	はしご	二連ピカ2ALF-72	台	1	19121117008
35	テント	GPT-1854	組	1	19121119006
36	絵画(油絵)	100号	枚	1	19121120001

県所有物品一覧（その他）

番号	品名		単位	数量	摘要
		規格・寸法等			
1	長椅子	コクヨCN-60B-R4	脚	2	
2	長椅子	コクヨCN-61B-R4	脚	2	
3	応接テーブル	ウチダRP-25P	脚	1	
4	会議机	ホウトクEB33-チーク棚付幕板付	台	4	
5	会議机	ホウトクEB31-チーク棚付幕板無	台	30	
6	片袖机	オカムラ3813ZF	脚	6	
7	座卓	ウチダD-1575	台	10	
8	平机（セールスマンデスク）	コクヨSD-BD1860MM	台	2	
9	両袖机	オカムラ3807FB	基	1	
10	教卓	ホウトク1型GR-20チーク	台	1	
11	更衣戸棚	オカムラ4573GZ	個	4	
12	雑誌架	ウチダ2段型NG色	台	1	
13	書庫	ウチダ6G型	台	1	
14	書棚	オカムラ4601ZZ	組	3	
15	食器戸棚	ウチダ23-S型	台	1	
16	ファイリングキャビネット	オカムラ4416AZA4-4型	個	1	
17	工具キャビネット	ライオンTS-45	台	1	
18	工具キャビネット	ライオンTK-90	台	1	
19	桐竹藁	桐竹藁	台	1	
20	風炉先	アジロ唐松	個	1	
21	銅羅	銅羅	個	1	
22	水張桶	水張桶	個	1	
23	茶入	瀬戸	個	1	
24	行事予定板	ウチダMS-36T/HM	枚	1	
25	写真機（レンズ）	キャノンDK	台	1	
26	草刈機	アルスDK-1030N	台	1	
27	草刈機	アルスDK-0330N	台	1	
28	エンジンプロアー	スチールBG75バック付	台	1	
29	かさ立て	ウチダA-31	台	2	

8. その他資料 *山岳スポーツセンター分は別添資料参照

(1) 主なイベント活動

実施されている主なイベント内容です。

イベント名称	開催時期	イベント内容
チューリップフェア	4月	見ごろを迎え咲き誇るチューリップ約70,000球を来園者の方楽しんでもらう。
秦野丹沢まつり(山開き)	4月	丹沢の本格的な登山シーズンの到来を祝う「山開き式」の開催。
チューリップ球根掘り取り	4月	球根の掘り取りボランティアの実施。
親子サツマイモ植え付け隊(全3回)	5月、7月、10月	でサツマイモの植え付け、手入れ、収穫等を体験 (1回目植え付け)
丹沢ボッカ駅伝競走大会	6月	秦野丹沢まつりの一環行事の一つで、40kg20kg10kgの小石を山小屋に担ぎ上げる競争。3部門。
田んぼ作り体験	6月	田植え。
川遊び体験教室	7月	川を中心とした夏休み体験教室を実施 自然環境の大切さや工作を楽しんでもらう。
七夕まつり	7月	来園者に七夕飾りを楽しんでもらう。
夏休み工作教室	7月	ペットボトルを使った工作教室。
おきな草ボランティア	9月中旬	おきな草の苗をポットに移植する。
秦野戸川公園まつり	10月中旬	秦野戸川公園まつり実行委員会主催により実施 ステージ演奏、体験教室、秋の味覚の販売
チューリップ植え付け隊	11月上旬	県立秦野戸川公園の春の風物詩「3万球のチューリップ」の来園者の植え付けの体験
クリスマスリース作り教室	12月	公園の間伐材を利用し、ドラム缶炭焼き窯で一連の炭焼き工程を体験
水無川マラソン大会	12月	はだの丹沢水無川マラソン大会の実施。
風の吊り橋ライトアップ	4月、6月、11月、12月	風の吊り橋ライトアップ及びエントランスのイルミネーションを実施
わたしの逸品アート展	1月、2月	年間を通し制作した逸品を募集、展示。
3館合同イベント	2月	3つの楽しさを満喫できる秦野戸川公園、山岳スポーツセンター、秦野ビジターセンターの合同イベント。
花とみどりのフォトコンテスト写真展	3月	「花とみどりのフォトコンテスト」の入賞作品を展示

(2) ボランティア活動状況

団体名称	人数	活動状況	活動内容
森のなかま2012	21	1回/月	間伐・枝打ち・ツル切り・下刈り等
戸川森づくりの仲間	30	1回/月	間伐・枝打ち・ツル切り・下刈り等
おきな草愛護会	16	2回/月	種蒔・除草・灌水・施肥等